



北口ひとみ



宇野信子



皆川幸枝

つくば・市民ネットワーク 議会速報

2016年3月27日発行

発行責任者

つくば・市民ネットワーク 北口ひとみ
つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F
Tel & Fax: 029-859-0264
tsukubahotnet@ybb.ne.jp

総合運動公園の住民投票結果を受け

市原市長、次期は不出馬！

3月議会の最終日(3月18日)、開会冒頭、市原市長は11月に予定の市長選について「次期市長選挙には出馬しないことを決断した」と正式に表明した。

不出馬の理由は、問責決議案の可決や住民投票の結果に加え、家族の健康上の問題とのこと。表明をうけ、議員から「この間、議会は総合運動公園整備を巡って、二分される状況ではあるが混乱はしていない。新聞で報じられた理由に議会の混乱とあるがどういう意味か」や「新年度の予算を決める重要な議会なのに、なぜ今態度表明したのか。予算編成前にやめるべきではなかったか」などの質問があった。

平成28年度には、小中一体型校舎新設が2件、クリーンセンターの大規模改修など数十億円規模の大事業がいくつも着手される予定だ。次期不出馬を表明した市原市長の提案による事業を、このまま進めて良いのか？つくば・市民ネットワークは、速やかに市政を刷新し新体制での事業執行が図られるべきと考えます。

竹園3丁目の地区計画

決定直前に延期？！

市内の公務員宿舍が大量に廃止されることに伴い、跡地の再開発があちこちで行われている。つくば市は良好な環境の保全を目的に、売却前に地権者との協議を経て、都市計画審議会で「地区計画」を定めてきた。

竹園3丁目のNTT 宿舍跡地も同様に、地区計画を定める手続きを進めていたが、2月4日の審議会での決定直前になりNTTが民間へ売却したと判明。新たな地権者へ説明をするという理由で、地区計画は異例の決定延期となった。

今回の地区計画案は、交通量の多い大通りからの進入路を禁止し、幅5mの緑地帯を設けるなど、交通の安全や景観を守る積極的な内容。岡田副市長に「NTTの売却について、いつ知ったのか。地区計画決定まで売却を待ってもらおうよう働きかけなかったのか」と問うと、「昨年10月中旬ごろ知った。NTTに面会を申し入れたが面会不要といわれ実現しなかった」との答弁。

更に、この新しい地権者は、市長の問責決議のきっかけになった事業者の関連会社と判明。万が一、大通りに進入路ができるような変更や高さ制限等の緩和がされれば、便宜を図ったのでは？と市民から疑いの目を向けられる可能性もあり、議会も見過ごせなくなる。

また、当該エリアに隣接した東大通り沿いには、巨大な壁面のマンションが建設中で、規制できなかったのかと市民の意見も届いている。つくば・市民ネットワークは「執行部は丸となって、一步も譲らず、この地区計画案を現在の地権者に受け入れさせるよう、強い意志で臨んでいただきたい」と要望した。

今後も、この地区計画の決定が変更なく行われるか、注視していきます。



特別支援学校の新設を求める 市民の請願から県へ意見書提出！

12月議会に提出された「旧上郷高等学校跡地に特別支援学校を新設することを、茨城県及び茨城県教育委員会に意見要望することを求める請願」は継続審議となり、文教福祉委員会ではつくば特別支援学校と上郷高等学校跡地を視察して、引き続き検討を行ってきた。

そんな中、県は今年3月、つくば特別支援学校の過密解消策を発表した。それによると、旧筑波町は石岡市の旧八郷南中を活用した新設校へ通学変更とする。また旧荳崎町は増築中の伊奈特別支援学校へ学区変更を検討するという。

しかし、それだけでは現在24不足しているつくばの教室不足は、半分しか解消されない。そこで3月議会で請願を一旦取り下げ、現状を反映した新たな意見書を文教福祉委員会から提案し、全会一致で可決された。意見書では「障害がある子どもたちの日常生活は、医療や福祉も大きく関わっており、生活圏の異なる地域での通学は子ども達にも保護者にも負担」「子ども達を自分たちの住む地域の中で学ばせ、つくば市内で成長させたいと考えるので、つくば市内にもう一校、県立特別支援学校を新設することを強く要望します」としている。

つくばの特別支援の子ども達が身近な場所で教育を受けられるよう、引き続き働きかけていきます。

TPP協定の批准をしないよう求める請願 審査先送り…

今決めなきゃ、いつ決めるの？！

2月4日に署名が行われ、批准作業中のTPP協定。これまでも、重要5品目のコメ、麦、牛・豚肉、牛乳・乳製品、甘味資源作物、(サトウキビなど砂糖の原料)については、関税撤廃対象から除外する「聖域」とするようJAなどからも要望が出されてきた。

しかし、全容が公開されない、5品目すべてで大幅な譲歩が行われる、さらには7年後には除外品も再度協議が義務付けられている、医療や健康に関する規制緩和要求など、様々な課題が分かってきている。

今回、これらの課題を示し、拙速に進めるのは問題があるので、国や政府へ批准を踏みとどまるよう意見書提出を求める請願が出されたが、委員会では、国の動向を見てと継続審査扱いとし、結論を先送りにした。今国会中に批准を目指さぬ旨の意見を届けたいという請願者の意図を汲み、市民ネットは今議会で議決すべきと考え、継続審査には反対した。



しかし、反対少数で、委員会決定の通り継続審査扱いとなってしまった。今後も、地域農業を守る観点からTPPの批准はしないよう求めています。

審議結果 (3月議会)

議案の内容と結果		会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党・維新の会	統一会派 つくば政清会 ・民主党の会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	山中八策の会
「TPPを批准しないよう国と政府へ意見書提出を求める請願」の継続審議	可決		×	○	○	○	○	×	×	○	
平成28年度一般会計予算	可決		×	○	○	○	○	×	○	○	
各会派の所属議員(敬称略) *:会派代表 (議員数27・議長:塩田)			*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢、 高野、松岡	*五頭 久保谷、神谷 小久保、黒田	*塚本 大久保、飯岡 木村修、木村清	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*金子	*鈴木	*塩田 (議長)